

自己実現への道

ライターへの道:これが具体的なポイント!!

第53回 第5回メディカルライティングセミナー より

風薫る5月17日、恒例のメディカルライティングセミナーが京都で開催されました。参加いただきました皆様、ありがとうございました。プロのメディカルライターになるための具体的なポイントをご紹介します。まずは、2013年10月～2014年3月までの課題をもう一度ご覧ください。

●ポイント① 徹底的に、理解できるまで調査する。

◇課題：National Comprehensive Cancer Network (NCCN), although the major candidates for treatment with the hypomethylating agents azacitidine or decitabine are patients with higher-risk MDS . . .

◇訳例：米国 National Comprehensive Cancer Network (NCCN) のガイドラインによると、DNAメチル化抑制剤であるアザシチジンまたはデシタビンの主な投与対象と考えられるのは

◇解説：hypomethylating agents⇒「低メチル化剤」などという造語が数多く用いられていました・・ここで「DNAメチル化抑制剤」という言葉が使えるかどうか・・これがプロとアマの分かれ道になります。わからなければ、必ず、調査する！！ まずは、アザシチジンの添付文書やインタビューフォームをダウンロードして、この薬剤の作用機序などを調べてみなければなりません。

●ポイント② 文章の表現方法について研究する。参考になる具体例を集める ⇒ 応用力を高める

◇課題：全生存期間中央値はアザシチジンの投与により通常治療に比べて有意に延長し、2年生存率は通常治療群よりもアザシチジン群の方が有意に高かった。

◇訳例：Median overall survival was significantly prolonged with azacitidine versus conventional care, with significantly more azacitidine recipients than conventional care recipients alive at 2 years.

◇解説：「2年生存率」を主語にせず、「alive at 2 years」と動詞で表現するところが英語的です。この英語を「2年生存率」と訳せるのも、プロの技ですね。工夫するための素材を集めること！

●ポイント③ 日本語と英語はかならず1:1に対応しているわけではない。言葉の定義を調査しよう。

◇課題：In the AZA-001 trial, 29% of haematological adverse events occurring in azacitidine recipients were managed by dose delay, and 9% were managed by dose reduction.

◇訳例：AZA-001試験において、アザシチジン群で血液毒性を発現した患者の29%に対して投与延期、9%に対して減量の処置を行った。

◇解説：同じ dose という言葉ですが、投与という行為を表す場合と投与量を表す場合があります。「dose delay」：この dose は「投与」のことを意味しますので、dose delay は「投与の延期」になります。「dose reduction」：この dose は「投与量」のことを意味しており、dose reduction は「投与量の減量」になります。

毎月の課題で、ポイントとなる部分をコツコツと押させてゆく・・・ただ、その積み重ねでしかありません。このような積み重ねが、経験となり、知識となり、応用力が培われて行きます。最初から、出来る人などいません。なぜそうなるのか、わからないことをそのままにせず、調査して情報を集め、理解した上で自信を持ってライティングしてゆくという心がけが何よりも大切です。課題の選定にあたっては、そういう点を考慮して学びのある部分を選んでおりますので、是非、毎月課題に挑戦して下さいを願っています。

5/17のセミナーでご紹介したポイントを全部ご紹介できないのが残念ですが、次回は11月の第三土曜日に予定していますので、皆様のご参加をお待ちしています。

〈安田一代〉